



今年は初めて虹の子作業所の子供達が舞台上で、独唱と全員でのダンスを熱演、この時は体育館内のお客様、売り場のボランティア達も販売活動を一時中断して手拍子で嬉しく応援した。

平成26年度の虹の子バザーは11月1日(土)恒例の深沢小学校体育館で行われ、日退協神奈川会はオークションコーナーを16名で担当しました。3連休初日、小雨、とバザーには悪条件ではありましたが、いつもながら熱心なお客様も開場前には100名強の常連の皆様が入口に並んで下さり、会場は盛り上がりました。



JARP 神奈川会
ワキウ グループ 担当チーフ 新島 健



今年は初参加3名が加わり、計16名でオークションコーナーを盛り上げた!



「高額出品物が少ない中、売上高を確保すべく急遽出品点数を20点増やして数で勝負することとなった。このため最低入札価格の値決め作業」には皆で大変苦労した。



落札者が順次発表されると、入札されたお客様は自分の名前があるか確認に集まる。落札者は整理番号と最低入札価格の付いた落札品を持って会計所に並び現金を支払う。



1人で数点落札されたお客様もいらっしゃり、会計係は発表された落札価格を、チェックの上で合計額を算出するため神経を使う。